キット化による

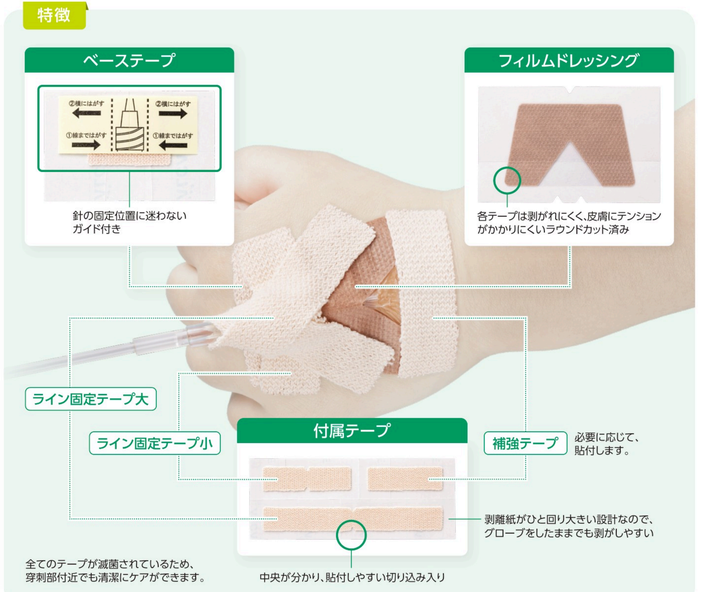
時間・手間の削減と手技の標準化

小児のカテーテル固定に必要な材料をワンパッケージ化することで、準備の時間と手間を削減し、手技の標準化にも貢献します。各部材には使いやすさを高めるための細やかな工夫が施されており、すべて滅菌済みのため清潔なケアが可能です。固定作業をスムーズかつ衛生的に行えます。

あるある❺

テープをカットする手間がかかる上に、滅菌されていないのが不安

特徴



フィックスキット®・PV　小児　Fix Kit-PV Child

種類	商品コードNo.	規格					1函入数
		ベーステープ	フィルムドレッシング	ライン固定テープ小	ライン固定テープ大	補強テープ	
―	21581	30mm×26mm	40mm×25mm	14mm(幅)×48mm(長さ)	14mm(幅)×98mm(長さ)	14mm(幅)×41mm(長さ)	30セット

EOG滅菌済 STERILE

カテーテル被覆・保護材　一般医療機器
医療機器届出番号：13B1X00207000080

【禁忌・禁止】
再使用禁止
本品を感染した部分に使用しないこと［感染を増悪させるおそれがあるため。］

使用目的又は効果

0歳以上の患者の末梢部位における留置カテーテルの固定、刺入部位の被覆・保護、ライン等の固定補助に用いる。

使用上の注意

重要な基本的注意

1) 本品使用中に発赤、ぴらん、そう痒等の皮膚障害と思われる症状が現れた場合は、本品の使用を中止し、適切な処置を行ってください。
2) 粘着剤による発赤や発汗等の貯留による浸軟を起こす場合があります。又、皮膚剥離を起こす場合もあるので、本品の使用時には十分な観察を行い、本品の関与が否定できない異常が見られた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行ってください。
3) 本品使用中に、末梢静脈路からの点滴液の漏出により、発赤・腫脹を起こした場合、直ちに使用を中止し、適切な処置を行ってください。漏出した薬剤により、組織の炎症や壊死を起こすおそれがあります。
4) 十分な固定力と適切なカテーテル角度を維持するために、カテーテルの下に粘着機能付クッション材の中央部がくるように、ベーステープを皮膚の適切な位置に貼付してください。
5) 本品に破れ等の破損、しわや浮きを含む剥がれ又は滲出液漏れや発汗過多による浸軟等が起きた時、起きそうな時は、速やかに交換してください。防水性が損なわれ、外部からの汚染を防止できなくなることがあります。
6) 発赤、皮膚剥離、ぴらんの原因となるおそれがあるため、本品を皮膚から剥離する際は、アルコール綿等を使用してください。
7) 本品は滅菌済みで包装の破損がない限り無菌性は保証されていますが、滅菌包装が破損又は汚損している場合及び、そのおそれがある場合には使用しないでください。
8) 本品を貼付しベーステープが手背からはみ出る場合は、別のサージカルテープでベーステープの浮きを補強してください。

※ご使用の際は、必ず電子化された添付文書をお読みください。

使用手順

ご使用の際は、必ず電子化された添付文書をお読みください。

1 貼付前
カテーテル刺入部周囲を清潔にします。
貼付
ベーステープを貼付します。

2 貼付
フィルムドレッシングを貼付します。

3 貼付
ライン固定テープ小をカテーテル接続部を覆うように貼付します。

4 貼付
ライン固定テープ大をカテーテルに巻き付けるように貼付します。
※必要に応じて、補強テープを貼付します。

使用手順動画は、こちらをご参照ください。

ALCARE
アルケア株式会社
東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階 〒130-0013
www.alcare.co.jp

お問い合わせ：コールセンター
フリーダイヤル 0120-770-863 土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00

●本カタログの内容は2026年6月現在のものです。
●商品の仕様、デザインおよび価格は、改良や経済状況の変動などにより予告なく変更することがあります。
●本カタログに掲載の写真は、実際の色とは多少異なる場合がありますので、ご了承ください。

VEGETABLE OIL INK

この印刷物は、ESPAのシルバー基準に適合した地球環境に やさしい印刷方法で作成されています。ESPA 環境保護印刷推進協議会 http://www.e3pa.com

541-0626

ALCARE

つなぐ手あて、ひらくケア。

フィックスキット®・PV　小児

Fix Kit-PV Child

小児の手背に合わせた
コンパクト設計で
固定力と観察性を両立

カテーテル固定専用キット
Catheter Fixation Kit

《フィックスキット®・PV　小児》カテーテル固定専用キット

高いカテーテル固定力と観察性を備え、小児医療に寄り添う末梢固定を実現しました。

小児患者に合わせた、より強固なカテーテル固定に貢献

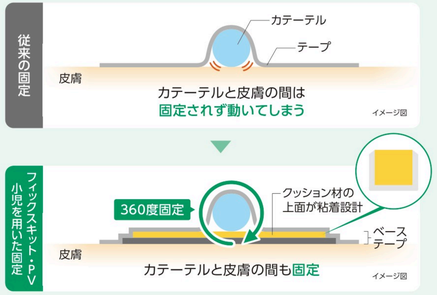
ベーステープのクッション材上面の粘着剤により、不意な動きによるカテーテルのズレを低減します。針元を固定することで抜去リスクを軽減できるため、動きの多い小児患者でも安定した固定状態を保ちやすく、ケアにゆとりが生まれます。

あるある❶

小児患者は動きが多く
針が動いてしまう

特徴

ベーステープのクッション材上面の粘着剤とフィルムドレッシング下面の粘着剤でカテーテルを挟み込み密着させることにより、カテーテルを支持、固定します。

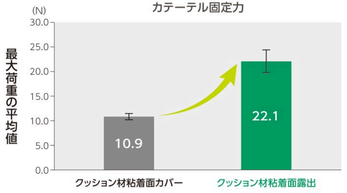


カテーテル固定力の比較試験

カテーテル固定力評価のため、ベーステープのクッション材の粘着面の有無による2条件で性能試験を実施しました。クッション材の粘着面により高いカテーテル保持力を発揮し、留置位置をしっかり維持することが確認されました。

〈試験方法〉クッション材の剥離紙を付けたままの状態および剥離紙を剥がして粘着面を露出させた状態でのカテーテル固定。固定後3分経過時点における、引張速度200mm/minで水平方向に牽引し、留置針先が5mm移動するまでの最大荷重の測定。各n=10。(自社調べ)

ベーステープのクッション材の粘着面の有無による
カテーテル固定力



高い観察性により、皮膚トラブルの早期発見をサポート

小児の点滴管理では、固定力確保のためテープを貼付するほど観察が難しくなり、静脈炎や血管外漏出などの兆候が観察しづらくなる場合があります。本製品は刺入部を容易に観察できる透明フィルムの窓構造と小児の手背に合わせたコンパクト設計により、固定力を保ちながら高い観察性を確保。皮膚トラブルの早期発見に役立ちます。

あるある❷

固定力を重視するあまりテープを過剰に貼付してしまい、刺入部の観察ができず皮膚トラブルに気づけないことがある

特徴

窓部分がフィルムドレッシング構造のため、刺入部を観察でき、静脈炎などの刺入部周囲における皮膚トラブルの早期発見に役立ちます。観察のためにテープを剥がす必要もありません。

あるある❸

小さな手背にテープを過剰に貼付すると、皮膚が覆われることで十分な観察が困難となり、皮膚トラブルの発見が遅れてしまう

特徴

0歳以上の小児の小さな手背に配慮したコンパクト設計（3cm×4cmの貼付面積）で手背全体の視認性を確保でき、血管外漏出による発赤や腫脹といった皮膚トラブルの早期発見に役立ちます。

カテーテルの局所的な圧迫を低減し、小児の皮膚への負担を軽減

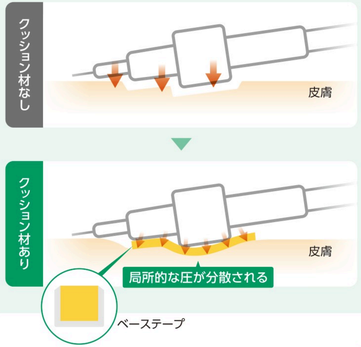
カテーテル接続部の角による局所的な圧迫は、小児の皮膚に大きな負担となることがあります。本製品はベーステープの上のクッション材が接続部の直接接触を防ぎ、カテーテルの局所的な圧迫を低減します。局所圧迫による皮膚トラブルのリスクを低減しつつ、固定力も両立させる設計になっています。

あるある❹

カテーテル接続部が小児の脆弱な肌に直接当たり、皮膚トラブルが発生してしまう

特徴

ベーステープの上のクッション材によりカテーテル接続部が直接皮膚に接触せず、圧を分散し圧迫による皮膚へのダメージを抑えます。



実寸大（3歳1か月児 前腕）